

令和 8 年度 道徳科実践・研究計画



部 員 ○米山小幸 工藤優花 三浦茉莉 門脇千尋 田島駿己 小室真紀

I 道徳科における
自律した学習者の姿

- 1 登場人物が置かれた状況に没入し、自分事として考える姿
- 2 実感を伴った自己の道徳的価値観を見出す姿
- 3 自らの道徳的価値の捉えの幅を広げたり深めたりする姿

II 授業デザインの取組

- A 現時点の価値に対する自分の捉え方を知ることができるようにする。
- B 子どもたちの発言に問い返ししながら心を耕すことができるように多様な思考パターンから教材研究を行う。
- C 子どもたちの思考や心のはたらしを感じ取りながら柔軟に展開する。

III 1・2 年次研究で生成した仮説

	問題解決に没頭する子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	要因・手立て (英字は、授業デザインの取組との関連)
一 年 次	言葉に潜む心情に思いを巡らせ、道徳的価値に対する理解を高めていく姿 (2、3)	主人公の「○○さんはいいよ」の発言に、優しさを感じている子どもたちの発言を肯定的に紹介することで、言葉に込められた違和感を引き出したこと。「書く」という一人で考える時間を十分に設けたことで主人公の発した言葉の意図を考えることができたこと。(B、C)
	お話に登場する多様な人物の立場から、よりよい関わり方を模索する姿 (1、2、3)	役割演技を設定し、子どもたちがそれぞれの登場人物の立場で考える機会を設けたこと。また、立場を可視化するカードを用意し、考えを比べることができるように意図的に指名したこと。(B)
二 年 次		

IV 1 年次研究の課題と、改善するための手立て

	課題となった子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	改善するための手立て (英字は、授業デザインの取組との関連)
一 年 次	道徳的価値観を自己の生き方のなかで捉えようとする姿 (2)	子どもたちの文脈(行事や他教科、子どもたちの実態)のなかで道徳的価値を紡いでいくためのカリキュラム・マネジメントや児童理解。(C、D)

令和8年度 道徳教育全体計画

秋田大学教育文化学部附属小学校

児童の実態		学 校 教 育 目 標			保護者, 地域の願い	
・伸び伸びとして明るい ・素直 ・知的好奇心が旺盛		自 律			・心豊かな子どもの育成 ・学力の向上	
		のびのび きびきび わくわく				
		目 指 す 子 ど も 像				
		☆思いやりの心をもち、互いのよさを認め合って高まろうとする子ども ☆自分で判断して、正しい行動をつらぬく子ども ☆心身ともに健康で、生き生きと活動する子ども ☆目標をもち、最後まであきらめず努力する子ども ☆学ぶ楽しさを見いだし、よりよいものを求めて工夫する子ども ☆自分の可能性を信じ、挑戦する子ども				
		道 徳 教 育 の 目 標				
		お互いのよさを認め合いながら、自ら考え、よりよく生きようとする子どもを育てる。				
特別活動における道徳教育		各学年の重点目標			各教科における道徳教育	
学級活動	友達と協力し、進んで活動することを通して、望ましい人間関係を育成する。	低学年	○よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。 A（1）善悪の判断、自律、自由と責任 ○友達と仲よくし、助け合うこと。 B（9）友情、信頼 ○約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。 C（10）規則の尊重		国語	表現力を高めることにより、人間性豊かにものごとを感じる心情を育てる。
児童会活動	異年齢集団による交流などを通して、望ましい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度を育てる。	中学年	○自分の考えや意見を相手に伝えるときともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。 B（10）相互理解、寛容 ○約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。 C（11）規則の尊重		社会	社会生活について理解し、国土と歴史に対する理解と愛情を育てる。
クラブ活動	異年齢交流のもとで、互いに協力して興味・関心を高め、個性を伸ばし、生活を豊かにする態度を育てる。	高学年	○自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。 A（1）善悪の判断、自律、自由と責任 ○自分の考えや意見を相手に伝えるときともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。 B（11）相互理解、寛容		算数	問題解決の見通しをもち、筋道を立てて考える態度を育てる。
学校行事	望ましい集団への所属感や連帯感の自覚を深め、協力・勤労・奉仕などの道徳性を育てる。			※全学年共通の重点項目 A善悪の判断、自律、自由と責任	理科	自然に親しみ、生命を尊重し、自然環境を大切にする態度を育てる。
外国語活動における道徳教育		具体的な取組			生活	具体的な活動や体験を通して、基本的生活習慣や自立への基礎を養う。
国際理解を深め、世界の人々との親善に努める態度を養う。		○現時点の価値に対する自分の捉え方を知ることができるようにする。 ○自己とじっくり対話することができるように、活動を精選する。 ○児童の発言に問い返ししながら心を耕すことができるように多様な思考パターンから教材研究を行う。 ○児童の思考や心のはたらきを感じ取りながら柔軟に展開する。			音楽	音楽を愛好する心情や感性を育て、美しいものや崇高なものを尊重する心を養う。
総合的な学習の時間における道徳教育					図工	造形的な活動の喜びを味わうことを通して、豊かな情操や創造性を養う。
問題を解決する資質や、自己の生き方を考える心を養う。					家庭	自分の生活を見直し、家族の一員として、家庭生活を大切にする心情を育てる。
					体育	健康や安全に気を付け、きまりを守って協力し合う態度を育てる。
道 徳 的 実 践 の 日 常 化						
生徒指導における道徳教育		学級・学校環境における道徳教育		体験活動における道徳教育		家庭・地域・社会との連携
・望ましい人間関係の確立を図る。 ・自分のよさや可能性を発揮できるように支援する。 ・基本的生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活を営む態度を育てる。		・校内の美化や整理整頓 ・子どもの心に響く道徳に関する掲示 ・子どもと教師との信頼関係づくり		・豊か体験を通して、豊かな心もち、進んで行動しようとする態度を育てる。 ○わくわく班活動 ○自然体験活動 ○文化芸術体験活動 ○集団宿泊活動		・子どもの姿をもとに保護者との話し合いの場を設け、相互理解を図る。 ・地域の人との交流を深め、郷土のよさに気付かせる。 ・道徳の時間の授業を積極的に公開する。 ・4校園の連携を図る。

○主な行事等における道徳的ねらい

月	行事・活動	道徳的ねらい	関連価値
通 年	清掃活動	・清掃活動に協力して取り組み、社会のために奉仕しようとする。 ・自分たちにできることに気付き、考え、実行しようとする。	勤労、公共の精神、 よりよい学校生活、集団 生活の充実　自由と責任
	防犯訓練 (年４回)	・自他の生命・身体の安全を守ることの重要性を理解する。 ・不測の事態に対して、迅速かつ的確に行動できるように、約束や指示を守る。	生命の尊さ 節度、節制
	あいさつ	・心をこめて、気持ちのよいあいさつや返事をしようとする。	礼儀　友情、信頼 感謝
４ 月	始業式・入学式	・入学を喜び、楽しく学校生活を送ろうとする。 ・自分のやらなければならない勉強や仕事をしっかり行おうとする。	希望と勇気、努力と強い 意志 礼儀
	身体計測	・自分の身体の成長に関心をもち、生きていることに喜びを見いだすとともに、健康や安全に気を付けて、節度ある生活をしようとする。	生命の尊さ 節度、節制
	手をつなごう 仲間集会	・異学年のかかわりを深め、豊かな人間関係を築こうとする。 ・みんなが仲良く楽しく遊ぶことができるように、お互いを思いやり、協力しようとする。	親切、思いやり 友情、信頼 相互理解、寛容 自由と責任
５ 月	避難訓練	・自他の生命・身体の安全を守ることの重要性を理解する。 ・不測の事態に対して、迅速かつ的確に行動できるように、約束や指示を守る。	生命の尊さ 節度、節制
	はとの子運動会	・それぞれのめあてをもち、くじけずに粘り強くやり抜こうとする。 ・係の仕事に進んで取り組み、互いに協力して責任を果たそうとする。 ・友達と互いに協力し合い、集団演技や競技に臨み、運動会を成功させようとする。	希望と勇気、努力と強い 意志　自律、自由と責任 友情、信頼 よりよい学校生活、集団 生活の充実
６ 月	創立記念日	・学校への敬愛を深め、明るく楽しい校風を作ろうとする。 ・校内外の清掃や美化活動に取り組み、進んで働こうとする。	よりよい学校生活、集団 生活の充実 勤労、公共の精神
	修学旅行(６年)	・いろいろな人と関わることで、友だちや自分のよいところを見つけようとする。 ・集団行動の仕方を身に付けるとともに、公共の場でのマナーや正しい利用の仕方を学ぶ。	友情、信頼　節度、節制 親切、思いやり　礼儀 規則の尊重 よりよい学校生活、集団 生活の充実
	宿泊学習(５年)	・協力し合って、主体的に責任ある行動をとろうとする。 ・規律ある集団行動を通して、公共のマナーや社会的生活態度を身に付ける。 ・自然の中で活動することを通して、自然に親しみ、たくましい心と体を育む。	親切、思いやり 自然愛護　友情、信頼 規則の尊重 よりよい学校生活、集団 生活の充実
７ 月	１学期終業式	・学期を振り返り、自己の成長や個性、長所を知るとともに、これをよりよく伸ばそうとする。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。	希望と勇気、努力と強い 意志 個性の伸長　礼儀
８ 月	２学期始業式	・新学期を迎え、より高い目標を立て努力しようとする。また、楽しい学級や学校にしようとする気持ちを高める。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。	希望と勇気、努力と強い 意志　個性の伸長　礼儀

月	行事・活動	道徳的ねらい	関連価値
10月	芸術鑑賞教室	・芸術を愛好する心情や感性を育て、美しいものや崇高なものを尊重する。 ・公共の場できまりを守り、人に迷惑をかけないようにしようとする。	感動、畏敬の念 真理の追究 規則の尊重
	避難訓練	・自他の生命・身体の安全を守ることの重要性を理解する。 ・不測の事態に対して、迅速かつ的確に行動できるように、約束や指示を守る。	生命の尊さ 節度、節制
	はとの子学習発表会	・目標を達成するために、希望をもって粘り強くやり通そうとする。 ・自分の役割を自覚し、進んで責任を果たそうとする。	希望と勇気、努力と強い意志 自律、自由と責任 友情、信頼
12月	2学期終業式	・学期を振り返り、自己の成長や個性、長所を知るとともに、これをよりよく伸ばそうする。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。	希望と勇気、努力と強い意志 個性の伸長 礼儀
1月	3学期始業式	・新学期を迎え、より高い目標を立て努力しようとする。また、楽しい学級や学校にしようとする気持ちを高める。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。	希望と勇気、努力と強い意志 個性の伸長 礼儀
	身体計測	・自分の身体の成長に関心をもち、生きていることに喜びを見いだすとともに、健康や安全に気を付けて、節度ある生活をしようとする。	生命の尊さ 節度、節制
2月	わくわく班集会	・異学年のかかわりを深め、豊かな人間関係を築こうとする。 ・みんなが仲良く楽しく遊ぶことができるように、お互いを思いやり、協力しようとする。	親切、思いやり 友情、信頼 相互理解、寛容 自由と責任
3月	ありがとう6年生集会	・学校への愛着と感謝の気持ちをもって、伝統を引き継ごうとする。	よりよい学校生活、集団生活の充実 感謝
	卒業式	・卒業の喜びを味わい、より高い目標を立て、希望と勇気をもって中学へ進学しようとする。 ・6年間お世話になった学校・家庭・地域に対する感謝の気持ちをもつ。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。	感謝 自律 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 礼儀
	修了式	・1年間を振り返り、自己の成長や個性、長所を知るとともに、これをよりよく伸ばそうする。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。	自律 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 礼儀